



2024年3月11日

各 位

会 社 名 株式会社 GENDA  
代 表 者 名 代表取締役社長 申 真衣  
(コード番号：9166 東証グロース市場)  
問 合 せ 先 取締役 CFO 渡邊 太樹  
(TEL 03-6281-4781)

### 特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

株式会社 GENDA（本社：東京都港区、代表取締役会長：片岡 尚、代表取締役社長：申 真衣、以下「当社」）は、2024年1月期第4四半期（2023年11月1日～2024年1月31日）において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 特別損失（減損損失）の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損の測定を行った結果、減損損失として9.9億円を計上することとなりました。その内訳は以下のとおりです

アミューズメント施設に係る固定資産	537 百万円
株式会社エービスより吸収分割したゲームセンター事業に係るのれん	134 百万円
オンラインクレーンゲームに係る固定資産	227 百万円
アミューズメントマシンレンタルに係る固定資産	95 百万円

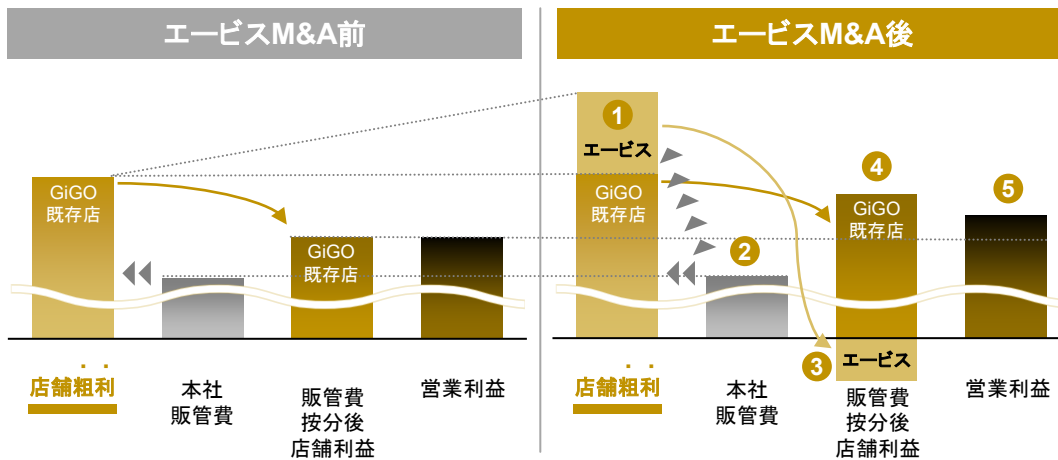
##### 2. 業績に与える影響

上記の特別損失（減損損失）は本日公表しました「2024年1月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。詳細については別紙をご参照ください。

以上

## 旧エービス(4店舗)\*に係る「のれん減損」は、後述の構造的な事由によるもの 「投資回収を含めたM&Aの見地から実態的に問題が無い状況である」という点が重要

アミューズメント施設に係る固定資産	537 百万円
株式会社エービスより吸収分割したゲームセンター事業に係るのれん	134 百万円
オンラインクレーンゲームに係る固定資産	227 百万円
アミューズメントマシンレンタルに係る固定資産	95 百万円



- まず、旧エービス4店舗の**店舗粗利 / CFは黒字**。  
従って、M&A後は旧エービス4店舗の粗利 / CFの増加分だけ、合計の店舗粗利 / 店舗CF総額は増加
- また、事業譲受であるため**全体の本社販管費は不変**。  
(従い、①と合わせ、全社的な営業利益(及びCF)は増加)
- 一方、本社販管費は各店舗に「売上按分」されるが、旧エービス4店舗は**本社販管費按分後の利益は赤字**(つまり既存店より利益率が低い)となるため、減損
- 反対にGiGO既存店は、③でエービスへ按分された本社販管費の分だけ負担が減り、管理会計上の店舗利益が増加
- いずれにせよ、旧エービス4店舗の店舗粗利 / CFが増加し、一方でエービスM&Aによる販管費総額は不変であるため、エービスM&A後の総額の**営業利益 / CFは増加**

また何より、**取得対価は「店舗粗利 / CF」で回収可能な水準**であり、**実態的な投資回収の観点で問題無い**ということが重要

- 結果的にその他含め9.9億円の減損後、上方修正後の「**当期純利益 利益予想を達成**」  
かつ、2025年1月期の以下のマイナス要因を打ち返し、「**当期純利益 増益予想を計画**」

- **マイナス要因①: のれん償却費の増加**  
(2024年1月期下半期のM&Aにかかるのれん償却費が2025年1月期に通年に影響)
- **マイナス要因②: 法人税の負担が増加**  
(2024年1月期まで繰越欠損金で軽減されていた法人税が2025年1月期から通常に戻る)

- 将来キャッシュフローの不確実性は排除され、2025年1月期のB/Sは健全化、償却負担も減少

